

# 食料・飲料の備蓄

- □ 飲料水3日分(1人1ℓ/日)
- □ 非常食3日分(ご飯(アルファ米)、 ビスケット、板チョコ、乾パン等)
- □ トイレットペーパー、ティッシュペーパー
- □マッチ、ろうそく
- □ カセットコンロ など



## 非常用持ち出しバッグの準備

- □ 飲料水・食料品(カップ麺、缶詰、 ビスケット、チョコレート等)
- □ 貴重品(預金通帳、印鑑、現金、保険証等)
- □ 救急用品(絆創膏、包帯、常備薬等) □ ヘルメット、防災ずきん マスク、軍手
- □ 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池
- □ 携帯電話の充電器
- □ 衣類、下着、毛布、タオル
- □ 洗面用具、カイロ、ウエットティッシュ □ 携帯トイレ
- ※乳児のいる家庭は、紙おむつ、ミルク、 ほ乳瓶などを用意。



### 家具の置き方の工夫



家具は壁に固定。

□ 寝室や子ども部屋の家具 は最小限。置く場合も背 の低い家具にして、倒れ た時に出口をふさがない ように向きや配置を工夫。 □ 手の届く所に懐中電灯、ス

リッパ、ホイッスルを準備。

(出典:首相官邸「災害に対するご家庭での備え」)

# 防災お役立ち情報

三芳町では、町のホームページに「防災・防犯」のページを設置し 地震・洪水・内水のハザードマップや前述の避難所一覧などの お役立ち情報を掲載しています。また、町公式のツイッターや フェイスブックでは、災害時に被害状況や避難所情報などを発









災害時伝言ダイアル 171

大災害時、被災地との通 話が困難な場合、声の伝 言板として使用できます。

れません。なぜなら、災害はい

、災害への備えは「いつ

自助」は、「共助」「互助」「近 自分自身が防災意識と知識を に発展する可能性を秘めて 災害への備えをする

備えを始めるのは「今すぐに」。るのではないでしょうか。 からこそ、日頃から「もし という時に落ち着いて行動でき とで安心感が生まれ、「いざ こが重要です。また、備えたこ 災害を予測することは困難だ 」を想定して備えておくこ

の先災害が起きた時にわかるは

してそれは、町全体の防災力 か遅いか、それはこ

~防災を知る・自分を守る~

# 三芳町防災フェア開催



# 10月19日生

10:00~14:00



**■場所** 三芳町総合グラウンド、コピスみよし (雨天時は三芳町総合体育館・一部内容変更あり)

内容 起震車体験 / 煙体験 / はしご車高所救出訓練 / 消防団ポンプ車操法 / 土のう積 み体験 / イツモ防災ブース(サバイバルキッチン他)/AED 使用体験 / 三角巾 講座 / 給水車体験 / 特別車両展示 (消防・警察・陸上自衛隊・大東ガスなど) / 救出救護トリアージ実演/キッズダンスショー 等



### その他

タイムスケジュール、シャトルバスの 運行時間は、チラシまたは町ホーム ページでご確認ください。



# 自分だけは大丈夫?

「『そのうちね』。いつまで経っ

頃から視界に入れて備えの意識 を持つように工夫しています。 口にこのスゴロクを掲示し、日 台1区では、集会所のホー の一コマです。みよし 長岡市など

合う「共助」であり、互いに助

い合う「互助」でもあるのです

も同じこと。公助は、共に助け

**差し伸べて助け合う** 

いる人がいれば、手を

還元することで、

職員が使命感を持って活動 興支援をしてきました。



と益城町、岡山県倉敷市など、

八近い職員が現地を訪れ

県大熊町、熊本県の熊本市

た。宮城県石巻市、

派遣して、復興支援

イア活動を行っ

降、被災地へ職員を では東日本大震災以

みよし台1区集会所内にある格言スゴロク。 防災に役立つ情報や考え方が満載です。

# る笑顔

安心を生み、 大切な人を守る備え MIYOSHI DISASTER PREVENTION